

第3学年国語科指導案

令和5年6月26日（月）5時間目

世田谷区立松沢小学校

第3学年2組

- 1 単元名** 場面の移り変わりに気を付けて読み、登場人物の行動や気持ちなどについて、マップでまとめよう。

教材名 「まいごのかぎ」（光村図書 3年上）

2 単元目標

◎様子や行動、会話などの気持ちを表す語句について理解を深めたり、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えたりすることができる。

- ・様子や行動、会話などの気持ちを表す語句について理解を深めている。〔知識及び技能（1）オ〕
- ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。〔思考・判断・表現C（1）イ〕
- ・粘り強く登場人物の行動や気持ちなどを捉えようとしている。〔主体的な態度〕

3 単元評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。	・積極的に登場人物の気持ちの変化を想像し、学習課題に沿って、粘り強く登場人物の行動や気持ちの変化を捉えようとしている。

4 単元について

（1）これまでの学習経験

第2学年では、説明的文章「たんぽぽのちえ」「どうぶつ園のじゅうい」を通して、時を表す言葉、様子を表す言葉を学習してきた。文章から重要な語や文を考えて選び出すことや、ワークシートにまとめる際に大事な言葉を落とさず短い語や文でまとめる学習をしてきている。

第3学年の文学的文章で初めて学習した「きつつきの商売」では、場面の様子や登場人物の気持ちを叙述に基にしながら読み取ったり、音読の工夫や物語の構成を考えたりした。

（2）本教材について

本教材は、第3学年2つ目に学習する文学的文章である。本教材では、かぎによって起こる不思議な出来事が4回繰り返されており、その出来事ごとに登場人物の気持ちが変化しているという構造である。

中学年分科会（第3学年）では、登場人物の気持ちを読み取るために注目すべきことを次の図の

ように捉えた。



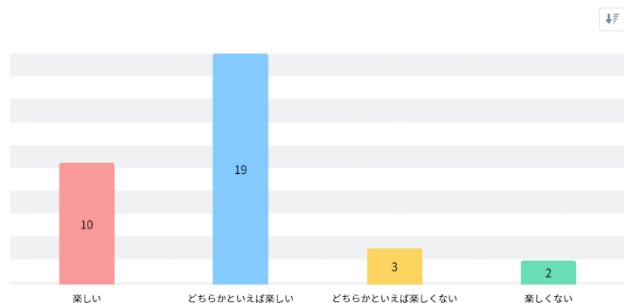
物語文において、叙述を基に登場人物の気持ちを読み取るために、「登場人物の会話・行動」「情景描写」に注目し、手掛かりとなるポイントをおさえることが重要になると考える。本教材では、主に「気持ちを表す言葉」や「会話」、「様子を表す言葉」、「登場人物の行動」に注目させ、登場人物の気持ちを読み取れるようとする。

また、この物語には多くの比喩表現があり、その叙述に着目すると場面や登場人物の様子、気持ちの変化をより具体的に想像できる。そのような表現に着目できるよう、考えたことを全体で共有したり、動作化を取り入れたりしていく。

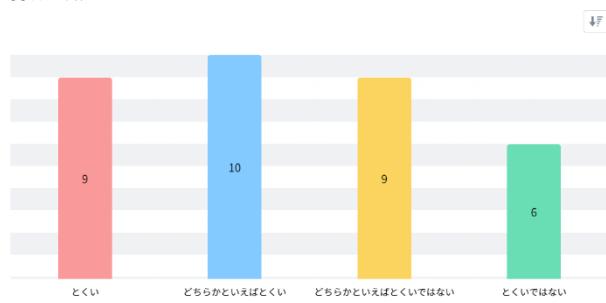
5 児童の実態

本单元に入る前に、第3学年2組 34名に国語学習における実態調査を行なった。その結果が以下の通りである。

【2】国語の学習は楽しいと思いますか。



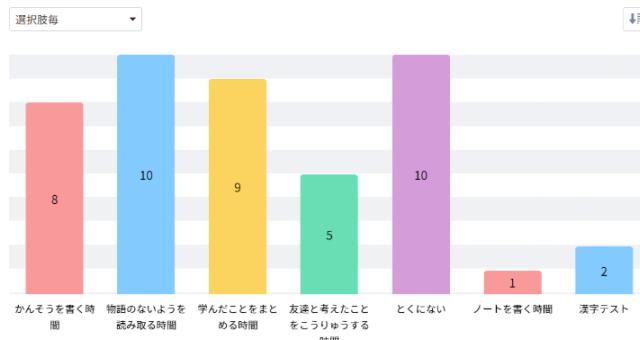
【3】国語の学習はどくいですか。



本学級の児童は国語学習を概ね楽しいと考えている児童が多いと言える。一方で、得意かどうかを問う質問では約半数の児童が得意ではないと答えた。理由としては、「自分の考えの書き方が分からぬ」が最も多かった。そのため、書き方の例やひな形を示す必要性があると考えられる。

また、国語学習の中で、苦手な時間の調査も行った。以下がその結果である。

【5】国語で、にがてだなと思う時間はどんな時間ですか。



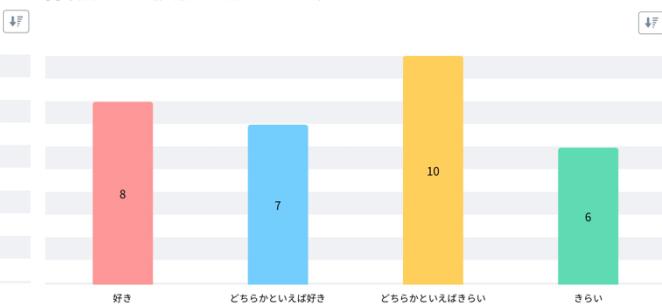
児童の多くは、物語の内容を読み取ったり、学んだことをまとめたりすることが苦手に感じていると分かる。

児童の主体性を育成するためには、児童自身が学習を楽しいと思えたり、有用感を感じたりすることが重要だ。児童が楽しいと感じることは概ねできている。そのため、学習の有用感を感じられるよう、教師の価値付けや、児童同士の交流を増やしていくことが大切になると考える。

【8】学習中、友だちの話を聞くことは好きですか。



【6】学習中、みんなの前で発表したり話したりするのは好きですか。



本学級の児童がどの程度、同じ学級の児童から学びを得ようとしているかの調査も行った。結果は、学習中に友達の話を聞くことに有用感を感じている児童が多いことが分かった。好きな理由として「話することで新しい考え方方が分かるから」「アイデアがいっぱい出るから」など、交流することによって自身の考えが広がることを挙げている児童多かった。一方で、発表したり話したりすることに苦手意識をもっている児童も多い。理由として「恥ずかしい」「間違っていたら嫌だから」などが挙げられた。そのため、全体交流の前にペアやグループなど少人数で交流する時間を設けるようにする。そうすることで、自分の考えに自信をもって発表できると考えた。上記のような手立てを通して、児童の主体性を更に育成できるようにする。

6 単元の位置付け

「読むこと」の指導事項 内容の（1）は学習過程に沿って、次のように構成している。

- 構造と内容の把握 叙述を基に、文章の構成や展開を捉えたり、内容を理解したりすること。
- 精査・解釈 文章の内容や形式に着目して読み、目的に応じて必要な情報を見付けることや書かれていること、あるいは書かれていないことについて、具体的に想像することなど。
- 考え方の形成 文章の構造と内容を捉え、精査・解釈することを通して理解したことに基づいて、自分の既存の知識や様々な体験と結び付けて感想をもったり考えをまとめたりしていくこと。
- 共有 文章を読んで形成してきた自分の考えを表現し、互いの考えを認め合ったり、比較して違いに気付いたりすることを通して、自分の考えを広げていくこと。

知識・技能 （1）言葉の特徴や使い方に関する事項

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
語彙	イ 身近なことを表す語句の量を増やし、話しや文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。	イ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。	イ 思考に関わる語句の量を増やし、話しや文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。

思考力・判断力・表現力等「C読むこと（文学的な文章）」領域の構成（1）指導事項

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
容構の把握と内	イ 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。	イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。	イ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。
精査・解釈	エ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。	エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。	エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。
考えの形成	オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。
共有	カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。	カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。	カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。

■第3学年 構造と系統[読むこと—説明的な文章] 光村図書 小学校国語 学習指導書

単元名・教材名	指導事項
場面の様子や登場人物の気持ちを想像する 【きつつきの商売】	○次のような言葉に気を付けて、様子や気持ちを想像すること。 ・したことを表す言葉 ・言ったことを表す言葉 ・気持ちを表す言葉
登場人物の変化に気を付けて読む 【まいごのかぎ】	○登場人物が変わっていく様子を確かめること。 ・どんな出来事が起こったか。 ・その時の登場人物の気持ちや様子が表れている言葉 ・出来事が起こる前と後とで、登場人物はどう変わったか。
物語に対する感想をもつ 【ちいちゃんのかげおくり】	○場面と場面を比べて、人物の様子や出来事の違いとその理由について考えること。 ○物語をだれの立場から読み、出来事をどう捉えるかによって、物語に対する感想は違ってくること。
組み立てを捉える 【三年とうげ】	○民話や昔話を読むときには、組み立てを捉えながら読むこと。 ①始まり ②出来事が起こる ③出来事が解決する ④結び ○組み立てを捉えると、登場人物の考え方や、気持ちの変化がよく分かること。

登場人物の性格を捉える 【モチモチの木】	○登場人物の性格は、人物の会話や行動、語り手や他の登場人物の考え方や、気持ちの変化が分かること。 ○他の人と見方を交流することで、人物に対する考えが深められること。
-------------------------	---

7 研究主題に迫るための手立て（ユニバーサルデザインを意識した指導の工夫）

研究主題「児童が主体的に読み、表現する指導の工夫～文学的な文章を通して～」に迫るために、本单元では、以下のような手立てをとった。

（1）掲示物の工夫（視覚化、ユニット化）

児童自身が学習の見通しをもったり、進め方を理解したりすることで、より主体的な学習になると考えた。そのため、学習の進め方や読みの手掛かりを掲示する。

学習の進め方

じっくりタイムでは、児童一人一人が本文の叙述を基に、気持ちマップに登場人物の気持ちの変化をまとめていく。児童が主体的に学習を進めていくためには、「どうすればよいか分からない」という状況をなるべく少なくすることが重要である。そのため、じっくりタイムにおける学習の進め方を掲示する。そうすることで、掲示物を見ながら自分で学習を進めたり、行き詰った際のヒントにしたりすることができると考えた。

<じっくりタイム>

- ・登場人物の気持ちが分かる叙述を読み取る。（全文シートにサイドライン）
- ・登場人物の気持ちを想像してワークシートにまとめる。

読みの手掛かり

児童が登場人物の気持ちの変化を捉えられるように、読みの手がかりを掲示する。具体的には「登場人物の行動」「会話」「気持ちを表す言葉」「様子を表す言葉」に着目させるようとする。そうすることで、叙述を基に登場人物の気持ちをより想像できるようになるとを考えた。また、「気持ちを表す言葉」は、秘伝書に書かれている具体的な言葉の例を掲示する。

（2）個に応じたワークシートの工夫（焦点化、個別的な配慮）

二次では、児童が一次で習得した学習の進め方を基に登場人物の気持ちが分かる叙述を捉え、気持ちがどのように変化したのかをまとめていく。児童の習熟度はまちまちであるため、ワークシートにイラストを貼るか貼らないかを選択できるようにする。イラストを選択できるようにすることで、習熟度の低い児童も自分でまとめるための足掛かりにできると考えた。また、気持ちを選択できるヒントカードや付箋を用意し、書き出しに困っている児童の助けとなるようにする。

（3）振り返りの活動の充実（視覚化、共有化、個別的な配慮）

児童の資質・能力を育むためには、児童が学習で何を、どのように学び、何ができるようになったかを自覚することが必要である。そのため、学習のまとまりごとに自身の学びを振り返る時間を設定する。また、書き出しに困る児童がいることが予測できるため、「ふりかえり」の頭文字を使用した、振り返りの視点を掲示する。具体的には、「ふ」は「深まったこと、不思議に思ったこと」、「り」は「理解できたこと（分かったこと）」、「か」は「考えたこと、感じたこと」、「え」は「え？と思ったこと」、「り」は「利用できそうなこと（次、生活の中で）」という掲示物を提示する。その振り返りを気持ちマップの裏に書かせ、O P P Aシートとして活用する。そうすることで、児童自

身が何を、どのように学び、何ができるようになったかを自覚したり、教師の指導改善に生かしたりできると考えた。

(4) 評価計画の工夫（個別的な配慮）

児童の主体的な学習とするために評価計画を工夫して、指導と評価の一体化を図る。具体的には、特徴的な児童の学習状況を確認する場面と、児童全員の観点別の学習状況を記録に残す場面を設定する。特徴的な児童の学習状況を確認する場面では、それぞれの時間の観点別の評価規準に照らして指導を行い、特徴的な児童を確認したり、さらに伸ばすための指導を行ったりし、児童の学習改善や指導改善に生かす場面として位置付け、児童の観点別の学習状況を記録に残す場面につなげるようとする。

8 学び方（「うさ松の秘伝書」の項目番号）

言語形式	言語内容
○読み方 1. 主人公を見つける。(③)	○読み方 1. どの場面にも出てくる人物を探す。行動、表情、会話に注目してどんな人物か考える。 主人公「りいこ」 2. 出来事を整理する。(⑥) 1 : 学校の帰り道でりいこがかぎを拾う。 2 : 交番に向かう坂道で桜の木にかぎを挿す。 3 : 公園でベンチにかぎを挿す。 4 : 海の近くの道のわきであじの開きにかぎを挿す。 5 : 海岸通りのバス停の看板にかぎを挿す。
○まとめ方 1. 登場人物の気持ちをマップでまとめる。(⑨)	○まとめ方 1. まとめ方を理解する。 ①気持ちを読み取る視点を知る。 ②「かぎを挿す前」「出来事が起きたとき」「かぎを抜いた後」の3つの時間的視点で文章を捉え、主人公の気持ちを読み取れる叙述にサイドラインを引く。 ③その時の主人公の気持ちを書く。
2. 気持ちを読み取る。	2. <読みの手掛かり> ・気持ちを表す言葉 •様子を表す言葉 ・登場人物の行動 •会話
3. 気持ちをカテゴライズする。	3. ①気持ちを表す言葉 ②心の中の声
4. 交流し、加筆・修正する。	4. 青・赤鉛筆を活用して、加筆・修正する。

9 学習指導計画（6時間扱い）

次	時	学習活動	○指導内容	◇支援 ★評価	
一 学習の見通しをもつ	1	<p style="text-align: center;">「まいごのかぎ」を読んで、出来事を整理しよう。</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> ○「まいごのかぎ」の全文を読む。 ○主人公を見つける。 ○話の出来事を整理する。 ○友達と交流して、物語の出来事を確認する。 ○学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○場面を想像しながら話を聞くこと。 ○主人公は「りいこ」であること。 ○大きく5つの出来事で場面を分けられること。 ○時間軸で話を整理し、同じつくりになっていると理解すること。 ○交流のルールを理解すること。 ○振り返りの視点を知ること。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇全文シートを配付し、思ったことや感じたことを自由に書き込んでも良いと伝える。 ◇秘伝書③を活用し、主人公を確認する。 ◇秘伝書⑥を活用し、場面が移り変わるときは、出来事や場所・時間、登場人物などが変化していることをおさえる。 ◇自分が書いたことは消さず、青鉛筆で加筆・修正させるようにする。 ◇振り返りの視点を明確に示す。 <p>★主体的に学習に取り組む態度（確認）</p>	
2 （習得①）		<ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○どのような出来事があったかを確認すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇出来事をまとめた掲示物を活用して、前時を振り返らせる。 	
		<p style="text-align: center;">[1]を読んで、りいこの気持ちを「気持ちマップ」にまとめよう。</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> ○物語の読み取り方、学習のまとめ方を確認する。 ○出来事の[1]を読み取り、気持ちマップにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「気持ちを表す言葉」「様子を表す言葉」「行動」「会話」から登場人物の気持ちを読み取れること。 ○まとめ方を理解すること。 ○気持ちをカテゴライズすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇学習の進め方、読みの手掛かりを提示する。 ◇まとめるときの視点を提示する。 <p>★知識・技能（確認）</p>	

	3 (習得②)	<ul style="list-style-type: none"> ○前時までの学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○どのような出来事があり、どのようにまとめたかを確認すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇出来事をまとめた掲示物を活用して、前時を振り返らせる。 	
		<p>2を読んで、りいこの気持ちを「気持ちマップ」にまとめよう。</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> ○出来事の2を読み取り、マップにまとめる。 ○考えたりいこの気持ちを友達と交流する。 ○全体でりいこの気持ちを確認する。 ○学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「気持ちを表す言葉」「様子を表す言葉」「行動」「会話」から登場人物の気持ちを読み取れること。 ○差異点を捉えながら交流すること。 ○自分の気持ちマップに書き足すこと。 ○振り返りの視点に沿って学習を振り返ること。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇学習の進め方、読みの手掛けかりを提示する。 ◇交流するときの視点を示し、どこに注目すれば良いかを捉えられるようにする。 ◇発言のひな型を提示し、発言しやすくする。 ★思考・判断・表現（確認） ◇振り返りの視点を明確に示す。 	
	4 (活用①) 本時	<ul style="list-style-type: none"> ○前時までの学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○どのような出来事があり、どのようにまとめたかを確認すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇出来事をまとめた掲示物を活用して、前時を振り返らせる。 	
二 叙述を基 に気持ちの 変化を読み取る		<p>3、4を読んで、りいこの気持ちを「気持ちマップ」にまとめよう。</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> ○出来事の3、4を読み取り、マップにまとめる。 ○考えたりいこの気持ちを友達と交流する。 ○全体でりいこの気持ちを確認する。 ○学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「気持ちを表す言葉」「様子を表す言葉」「行動」「会話」から登場人物の気持ちを読み取れること。 ○差異点を捉えながら交流すること。 ○自分の気持ちマップに書き足すこと。 ○振り返りの視点に沿って学習を振り返ること。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇学習の進め方、読みの手掛けかりを提示する。 ◇交流するときの視点を示し、どこに注目すれば良いかを捉えられるようにする。 ★知識・技能（評価） ◇発言のひな型を提示し、発言しやすくする。 ◇振り返りの視点を明確に示す。 	

5 (活用②)	<ul style="list-style-type: none"> ○前時までの学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○どのような出来事があり、どのようにまとめたかを確認すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇出来事をまとめた掲示物を活用して、前時を振り返らせる。
	<ul style="list-style-type: none"> ○出来事の[5]を読み取り、マップにまとめる。 ○書き出した叙述を友達と交流する。 ○考えたりいこの気持ちを友達と交流する。 ○全体でりいこの気持ちを確認する。 ○学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「気持ちを表す言葉」「様子を表す言葉」「行動」「会話」から登場人物の気持ちを読み取れること。 ○差異点を捉えながら交流すること。 ○自分の気持ちマップに書き足すこと。 ○矢印や等号を活用して、気持ちの変化を表すこと。 ○振り返りの視点に沿って学習を振り返ること。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇学習の進め方、読みの手掛けりを提示する。 ◇交流するときの視点を示し、どこに注目すれば良いかを捉えられるようにする。 ◇発言のひな型を提示し、発言しやすくする。 ★思考・判断・表現（評価） ◇振り返りの視点を示す。
6 (まとめ)	<ul style="list-style-type: none"> ○前時までの学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○登場人物の気持ちをどのように読み取ったかを振り返ること。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇掲示物を活用し、前時までの学習を振り返らせる。
			<p style="text-align: center;">「気持ちマップ」をかんせいさせよう。</p>
			<p style="text-align: center;">「気持ちマップ」をかんせいさせよう。</p>

10 値付けの工夫

「教師からの評価による価値付け」「児童同士の交流による価値付け」

教師からの評価による価値付け	机間指導	読みの手がかりを活用しながら、登場人物の気持ちを読み取る姿勢を称賛する。
	全体共有	登場人物の「気持ちを表す言葉」「様子を表す言葉」「会話」「行動」に着目して、登場人物の適切な気持ちを考えている発言や記述を称賛する。
	評価	児童の記述や発言から、学習のねらい（身に付けさせたい力）に応じた評価を心掛ける。

児童同士の交流による価値付け	記述を見せ、考え方を伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> 読みの手がかりを活用して、読み取ったことをワークシートにまとめているかについて相互評価、自己評価をする機会とする。 着目した表現などの根拠を明確にしながら、自分の考えを伝え合う。
----------------	-----------------	--

11 本時の指導（4／6時）

（1）目標

「ベンチ」から「あじのひらき」までの出来事について、読みの手がかりを活用しながら、登場人物の気持ちをマップにまとめることができる。

（2）展開

学習活動	○指導内容 ■予想されるつまずき	◇支援（全）…全体（個）…個別 ★評価								
1．前時の学習を振り返る。	○前時の学習を振り返り、本時の見通しをもつこと。	◇書き出した叙述をまとめた掲示物を活用して、前時を振り返る。								
<p>2．出来事の③、④を読み取り、マップにまとめること。</p> <p>じっくりタイム</p> <p>気もちの読み取りの基準</p> <table border="1"> <tr> <td><ベンチ></td> </tr> <tr> <td>①気になる。わくわく。</td> </tr> <tr> <td>②びっくりした。</td> </tr> <tr> <td>③残念だな。</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td><あじ></td> </tr> <tr> <td>①変だ。試してみたい。</td> </tr> <tr> <td>②びっくりした。</td> </tr> <tr> <td>③悲しい。</td> </tr> </table>	<ベンチ>	①気になる。わくわく。	②びっくりした。	③残念だな。	<あじ>	①変だ。試してみたい。	②びっくりした。	③悲しい。	<p>○気持ちが表れている叙述に線を引くこと。</p> <p>○気持ちの移り変わりを考えための視点を用いて、登場人物の気持ちを捉え、マップにまとめること。</p> <p>■登場人物の気持ちを表す言葉を知らない。</p> <p>■本文から適した言葉や文を選ぶことができない。</p> <p>活用 気持ちマップにまとめる</p> <p>1.読みの手がかりを活用して、叙述にサイドラインを引く。</p> <p>2.主人公の気持ちを考え、マップに表現する。</p>	<p>◇読み取りの視点を確認する。（全）</p> <p>◇秘伝書（語彙）を活用させ、気持ちを表す言葉の語彙を増やす。（全）</p> <p>◇同じような出来事が起った時に、自分はどのような気持ちになるかを想像させる。（個）</p> <p>◇気持ちが分からぬ児童には、気持ちが書かれたヒントカードを手渡し、選択して書けるようにする。（個）</p> <p>◇どこに書けばよいか困っている児童には付箋を手渡す。（個）</p>
<ベンチ>										
①気になる。わくわく。										
②びっくりした。										
③残念だな。										
<あじ>										
①変だ。試してみたい。										
②びっくりした。										
③悲しい。										

3. グループで交流する。 わいわいタイム	<ul style="list-style-type: none"> ○グループで交流すること。 ○差異点に着目し、考えを交流し、青鉛筆で加筆・修正すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇視点に沿って、考えを伝えられるように交流の仕方を提示する。(全)
4. 全体で交流する。 なるほどタイム	<ul style="list-style-type: none"> ○発言の仕方を確かめること。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇発言のひな型を提示する。「○○と書いてあったので、りいこは△△という気持ちになったと思いました。」(全)
5. 自分の考え方を見直し、加筆修正する。 つけたしタイム	<ul style="list-style-type: none"> ○登場人物の「気持ちを表す言葉」「様子を表す言葉」「話し方」「動き」に着目して、捉えること。 ○赤鉛筆で加筆・修正すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇登場人物の「気持ちを表す言葉」「様子を表す言葉」「話し方」「動き」に着目して、マップに書き出している児童を価値付ける。(全) ◇自分の考えを伝えている児童を価値付ける。(全) ◇同じ気持ちだが、表現の仕方が違う発言を取り上げ、価値付ける(全) <p>★読みの手掛かりを活用しながら、登場人物の気持ちをマップにまとめることができる。</p>
6. 本時の振り返りをして、次時の学習を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りの視点に沿って学習を振り返ること。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇振り返りの視点を提示する。(全)

12 板書計画

<黒板>

あじの絵	ベンチの絵	「まいごのかぎ」本文			
①気になる。 わくわく。 ②びっくりし た。 ③残念だな。	①変だ。試して みたい。 ②びっくりし た。 ③悲しい。	3 ベンチから 4 あじのひらきまで			

<ホワイトボード・パネル>

<p>読みの手がかり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様子を表す言葉 ・主人公の行動 ・気もちを表す言葉 	<p>三気もちマップに書き出す。</p> <p>※ 気持ちを表す言葉</p> <p>二主人公の気もちを考える。</p>	<p>学習のすすめ方</p> <p>一氣もちが分かる文にサイドライン。</p> <p>※ 読みの手掛かり</p> <p>気もちのうつりかわり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①かぎをさす前 ②出来事がおきているとき ③かぎをぬいた後 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">5</td> <td style="width: 25%;">4</td> <td style="width: 25%;">3</td> <td style="width: 25%;">2</td> <td style="width: 25%;">1</td> </tr> <tr> <td>バス停の「バ」の点にかぎをさす。</td> <td>あじにかぎをさす。</td> <td>ベンチにかぎをさす。</td> <td>さくらの木にかぎをさす。</td> <td>りいこがかぎを拾う。</td> </tr> </table>	5	4	3	2	1	バス停の「バ」の点にかぎをさす。	あじにかぎをさす。	ベンチにかぎをさす。	さくらの木にかぎをさす。	りいこがかぎを拾う。
5	4	3	2	1									
バス停の「バ」の点にかぎをさす。	あじにかぎをさす。	ベンチにかぎをさす。	さくらの木にかぎをさす。	りいこがかぎを拾う。									
		<p>気もちを表す言葉</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">2年生</th> <th style="width: 50%;">3年生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ・おもしろい ・楽しい ・わくわくする ・うれしい ・よろこぶ ・ ・ ・ </td> <td> ・さわやか ・まんぞく ・気楽 ・落ち着く ・ゆかい ・ ・ ・ </td> </tr> </tbody> </table>	2年生	3年生	・おもしろい ・楽しい ・わくわくする ・うれしい ・よろこぶ ・ ・ ・	・さわやか ・まんぞく ・気楽 ・落ち着く ・ゆかい ・ ・ ・							
2年生	3年生												
・おもしろい ・楽しい ・わくわくする ・うれしい ・よろこぶ ・ ・ ・	・さわやか ・まんぞく ・気楽 ・落ち着く ・ゆかい ・ ・ ・												